

社会課題を解決する未来の仕事の提案
～ 2040年に求められる会社や職業とは？ ～

世界共通の仕事選び・教育のサービスを提供する会社
「クリエイティブクッキー」の提案

クリエイティブクッキー

奥村 翔平(小5) 奥村 新奈(小4) エリス チャールズ ヘンリー(小3) 池澤 凜帆(小2) 小川 聖陽(小2)

はじめに

ぼくの将来の夢は漫画家になることです。理由は絵を描くのが好きだからです。描いた漫画でみんなを楽しませたいです。翔平

わたしの将来の夢は建築関係の仕事につくことです。理由はものを作るのが好きだからです。そして、お父さんの仕事を継ぎたいです。新奈

ぼくの将来の夢は医者になることです。理由は自分の力で人を助けてみんなの笑顔を見たいからです。聖陽

ぼくの将来の夢はエンジニアになることです。理由はものを作るのが好きだからです。他に動物が好きなのでペット屋さんもやりたいです。エリス チャールズ ヘンリー

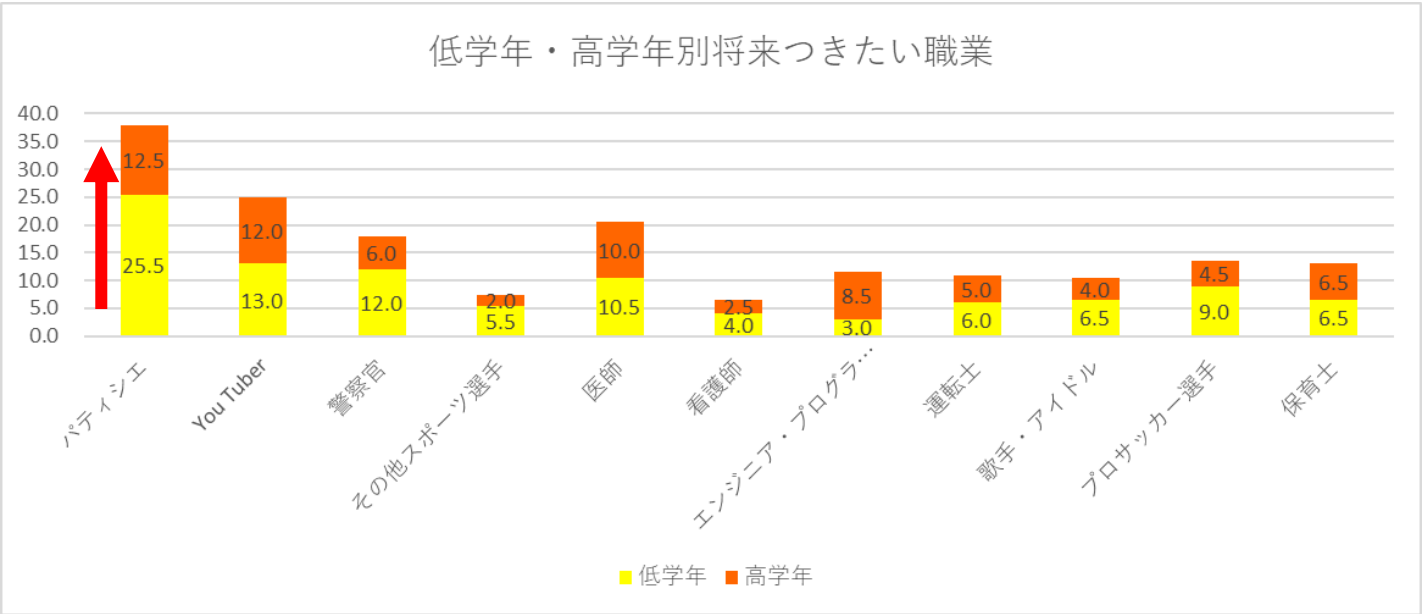
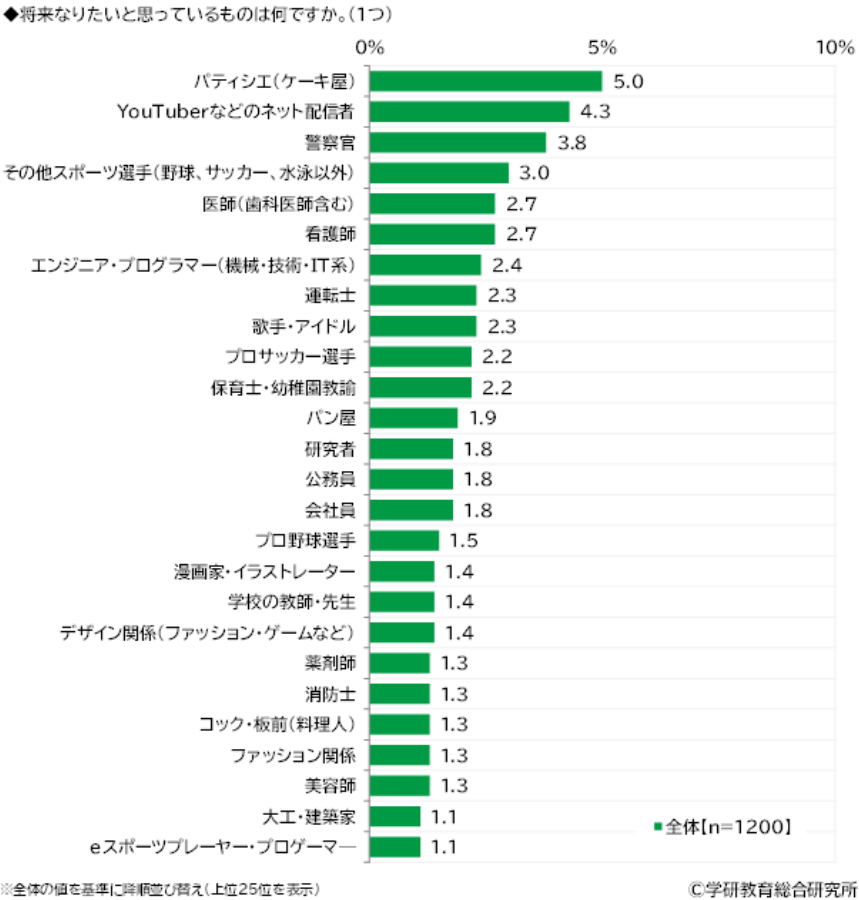
わたしの将来の夢は漫画家になることです。理由は絵を描くのがとても好きだからです。漫画を読むのも大好きで家にはたくさんの漫画の本があります。凜帆

2040年に私たちはこれらの夢をかなえて、やりたい仕事ができているのだろうか？

私たちは、最初に他の小学生たちが将来どんな仕事をしたいと考えているのか調べてみることにしました。

調査 小学生白書(学研総合研究所)「将来つきたい職業ランキング2023年(学年別集計)」

学研教育総合研究所の小学生白書2023年10月調査の将来つきたい職業ランキングでは、1位がパティシエ、2位がYou Tuber、3位が警察官という結果ですが、学年別のデータをみると以下のようなことに気づきました。



将来つきたい職業ランキング上位の仕事のほとんどで、希望する小学生の数が低学年から高学年になるまでに少なくなっています。低学年より高学年が上回ったのは、7位のエンジニア・プログラマーだけで、同数だったのが保育士・幼稚園教諭でした。これは、学年が上になるに従って何かの理由でやりたい仕事が変わっているからだと考えました。

「子供の頃になりたかった職業は？」 大人へのインタビュー

わたしたちは、大人たちにインタビューしてみました。

「子どもの頃になりたかった職業は？」

子どもの頃は警察官になりたかった。
警察官が活躍する映画を観たから。
その後、**体力がないので警察官の夢をあきらめて**、映画に関係する仕事を
したいと考えてアメリカに留学している。



中国上海出身 Aさん

子どもの頃は学校の先生になりたかった。
小さい子供がかわいくて好きだったから。
でも**世界でいろいろなことを勉強したかったからその夢をあきらめた**。
その後、夫の勧めで設計事務所に入った。



中国福建省出身 Bさん

子ども頃はバスの運転手になりたかった。
面白そうで毎日外の景色が見れる
から。大人になるにつれ、**夢と現実のうち現実の方が大きくなり**、会計の勉強
をして今は銀行員をしている。



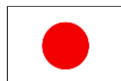
中国上海市出身 Cさん

子どもの頃は算数が好きだったので、
算数の先生になりたかった。
大人になる途中で興味が変わってきて、
パソコンが好きになってエンジニアに
なった。



アメリカ合衆国ミシガン州出身 Dさん

子どもの頃は野球選手になりたかった。
中学、高校と野球をしてきて、**自分に才能が無いと感じてあきらめた**。
その後は地図と人々の記憶に残るよ
うな仕事がしたくて設計の仕事に携わった。



日本山口県出身 Eさん

子どもの頃は泳ぐのが好きで
船乗りになりたかった。
でも**高校や大学の進路が変わってしまい入ることが出来なかった**。今はおにぎり
を作っている。



日本東京都出身 Fさん

大人たちが今の仕事につくまでの間に、才能や体力で夢をあきらめたり、成長していくなかで
興味がひろがって違うことに興味が変わることがあるとわかりました。

私たちの将来の夢も変わっていくのだろうか？

2040年はどんな社会になっている？大人へのインタビュー

次に、私たちは2040年の社会課題について考えることにしました。

私たちで2040年の社会を予想したのは、「ロボットがもっと活躍する社会」や「AIでいろいろなことが楽にできるような社会」を考えましたが、これらに関しても大人たちに2040年の社会課題を聞いてみました。

「2040年はどんな社会になっていると思いますか？」

2040年には教科書ノートが無くなり、すべてパソコンやギガタブだけで出来るようになる。なぜなら既にノートや教科書のデータ化が進んでいるから。



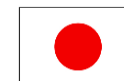
中国福建省出身 Bさん

2040年には環境をもっと意識するようになり自動車が少ない。電動式自転車や自転車が見直されるようになる。



アメリカ合衆国ミシガン州出身 Dさん

少子高齢化社会が加速し、働く人が少なくなる。その分をAIやロボットなどの技術革新で補うようになる。



日本福島県出身 Gさん

授業はAIが担当して先生は校長先生だけになる。なぜなら2040年はギガタブの使用が多くなるため先生が教える必要が無くなる。



日本山口県出身 Eさん

ガソリンが少なくなっているため、自然環境も改善。また、ガソリンに代わるエネルギーが出てくる。



日本東京都 出身Gさん

中国の技術や経済が発展し、世界トップレベルになる一方で、アメリカと中国、中国と日本といった国際関係が不安定になる。



中国上海出身 Aさん

大人たちにインタビューをまとめると次のことが2040年の課題として挙げられます。

1. AIや技術の進歩で様々な仕事が無くなる。
2. 環境を考えた社会になっている。
3. 今以上に国と国の仲が悪くなることもある。

このような中で私たちは、様々な仕事が無くなっていく中でも自分達の夢を実現し、自然環境を壊すことなく、国と国とを超えた繋がりを作ることができないかを考えました。

2040年の社会課題

「AIや技術の進歩で仕事が無くなる」、「環境を考えた社会」、「国家間の紛争や対立」

2040年の社会課題は「AIや技術の進歩で仕事が無くなる」、「環境を考えた社会」、「国家間の紛争や対立」であると考えました。これらを解決する未来の仕事を提案したいと思います。

①AIや技術の進歩で仕事が無くなる

先ず私たちは自分達の将来なりたい仕事である「漫画家」「建築関係の仕事」「エンジニア」「医者」についてこれまでの歴史と将来どのようになっているかをOpen AI(ChatGPT)に聞いてみました。

1960年代～2000年代



漫画家

ペン、インク、原稿用紙を使い、1ページ1ページを手で描いていた。多くの漫画家はアシスタントを雇い、背景描画、トーン貼り、仕上げ作業などのサポートを受けていた。編集者との対面の打ち合わせ。原稿の受け渡しは手渡し。



建築家

手描き図面や物理的なモデル作成、対面でのコミュニケーションが主流であり、作業全体が非常に手間と時間がかかっていた。



プログラマー

コンピュータは主に大型機で、プログラミングは時間がかかり、効率は低い。プロジェクトは長期にわたる。



医者

「身体検査と基本的な画像診断に基づく診断、紙ベースの記録、先進的な治療と技術へのアクセスは限定的。

現在

ペンタブレットや液晶タブレットを使用し、デジタルソフトウェアで絵を描くのが主流。作業の多くがデジタル化され、アシスタントとオンラインでの協力が主流となる。編集者との打ち合わせは、メール、チャット、ビデオ会議などオンラインで行われ、原稿もデータで入稿。

設計は主にCAD/BIMツールを使用。3Dモデルやシミュレーションが一般的。デジタルツールの導入で効率化が進むが、それでもまだ手動作業が残る。

高水準言語やIDE(統合開発環境)を使っている開発者が一般的。AIのサポートも増加。AIや自動化ツールの導入で、プログラミングの効率が向上。テストやデブロイが迅速に。

先進的な診断ツール(MRI、CT)、電子カルテ、遠隔医療、AI支援による診断と治療計画。

2040年

AIがストーリーの生成、キャラクターデザイン、背景描写を支援。世界中のアーティストや編集者とリアルタイムで共同作業が可能に。

AIが設計プロセスを支援し、最適化。VR/ARを利用した仮想空間での設計が可能。ロボティクスや3Dプリンティングが普及し、施工の多くが自動化。

AIがコードの自動生成やバグ修正を行い、開発者は戦略的な部分に集中。プロジェクト全体がほぼ完全に自動化され、少数の開発者で大規模なプロジェクトが管理可能。

遺伝子編集とナノテクノロジーを用いた個別化医療、AIによる診断と治療、手術におけるロボットの広範な使用、リアルタイムデータによる遠隔患者モニタリング。

AIが予測

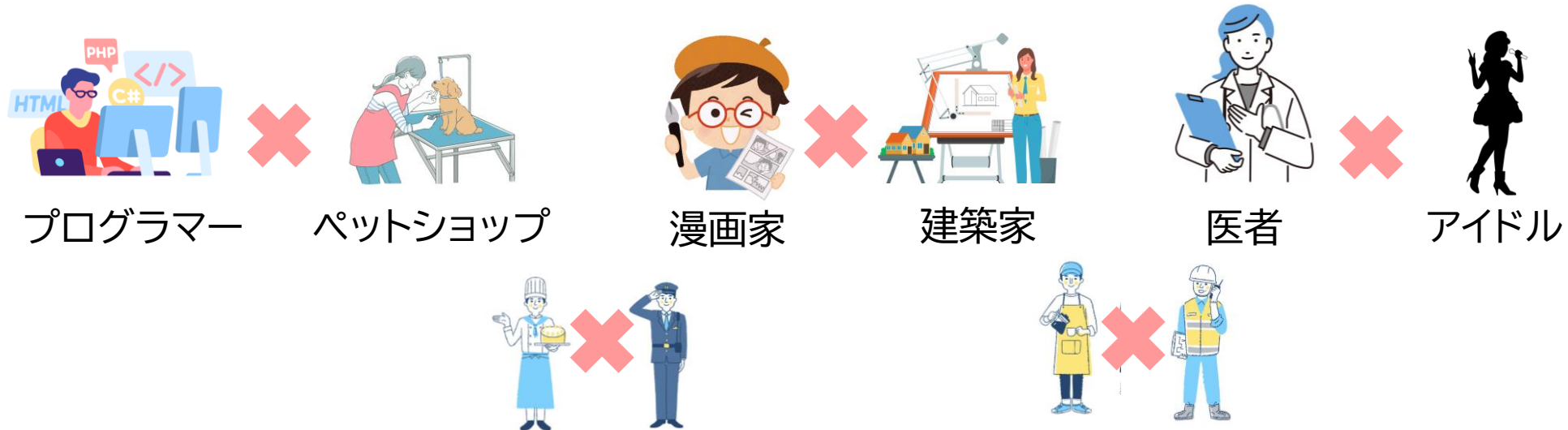
現在の作業と比較して2040年は
50%〜75%の作業効率向上
が予測される。

2040年の社会課題② 「AIや技術の進歩で仕事が無くなる」、「環境を考えた社会」、「国家間の紛争や対立」

①AIや技術の進歩で仕事が無くなる社会

漫画家、建築家、プログラマー、医者仕事の現在の歴史と2040年のAIによる予測から「2040年にはどの仕事も作業効率が50%から75%向上する」という結果となりました。作業効率が50%から75%向上するとどうなるのかを考えてみました。

作業効率が50%から75%向上するということは、これまでの仕事の労力がそのぶん掛からなくなるので仕事量が減ることになり仕事をする人の数も少なくなるが、
私たちは、仕事をする人の数が減るのではなく、**労力が減ることにより、一人が2つ以上の仕事を出来るようになる**と考えました。

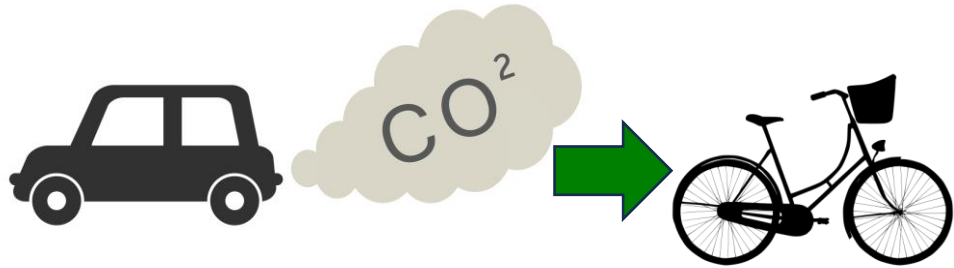


2040年の新しい働き方

「一人が2つ以上の仕事をする社会になる」

2040年の社会課題③ 「AIや技術の進歩で仕事が無くなる」、「環境を考えた社会」、「国家間の紛争や対立」

②「環境を考えた社会」



会社や学校までは、電車や車で移動しない。

→すべてが自転車で移動できる距離で完結できる。
仕事は自宅の近くかオンラインですることがメインになる。

③「国家間の対立や紛争」を無くす社会

国家間の紛争や対立を無くすために、世界中の人たちが学校や仕事をとおして交流できる社会にする。
世界中の人たちと常に交流していくことで、お互いに理解し合える社会になる。

- ・ 2040年の新しい働き方「一人が2つ以上の仕事をする」社会
- ・ すべてが自転車で移動できる距離で完結できる社会
- ・ 世界中の人たちと常に交流し、お互いに理解し合える社会

これらを実現する未来の仕事を提案します

未来の仕事の提案

- ・ 2040年の新しい働き方「一人が2つ以上の仕事をする社会」
- ・ すべてが自転車で移動できる距離で完結できる社会
- ・ 世界中の人たちと常に交流し、お互いに理解し合える社会

これらを実現する未来の仕事

世界共通の仕事選び・教育のサービスを提供する会社 「クリエイティブクッキー」を提案します！

2040年、私たちの社会はAIや技術の発展によって大きく変わろうとしています。このような未来において、子どもから大人まで全ての人が自分のやりたい仕事を見つけ、必要なスキルを学び、国や文化を越えて繋がることのできる世界を実現するために、私たちは「クリエイティブクッキー」という新しい会社の設立を提案します。

「クリエイティブクッキー」は、仕事選びと教育の世界共通のサービスを提供する会社で、世界中の人々が自分の好きな仕事と社会に役立つ仕事など2つ以上の仕事を見つけ、それに必要なスキルを学ぶための「場所」です。

サービス内容

教育プログラムの提供

必要なスキルを学ぶためのオンラインコースやワークショップを提供します。例えば、漫画家になるために必要な知識や能力をオンラインで学び、体験をします。それを習得したら経験値として個人の能力に付与して見える化します。

仕事選びのサポート

AIを活用して一人ひとりの興味やスキルに基づいた最適な仕事(アルバイトから経営まで)を提案します。働いた実績や教育プログラムでの習得状況に応じて経験値が付与され、それに応じて世界中の職業から仕事を選ぶことができます。

交流の場の提供

各分野での専門家や経験者に相談できたり、情報提供し合う交流の場を提供します。世界中の人々が集まるので、国や地域を超えてお互いに理解し合うことができます。

未来の仕事の新しい点と課題

仕事を探したり、仕事のために教育を受ける会社は現在でもあると考え、私たちが提案するクリエイティブクッキーと現在の会社の違いを考えてみることにしました。

人材サービス会社で6年間働いていたGさんにインタビューを行い、以下のように人材サービス会社とクリエイティブクッキーの違いをまとめてみました。

	クリエイティブクッキー	人材サービス会社
サービス内容	仕事選びのサポート、教育プログラム、交流の場の提供	仕事紹介、転職支援、人材派遣
サービスの特徴	一人が2つ以上の仕事をすることをサポート	基本的に一つの職場への紹介、マッチング
利用する人	子供から大人まで	大人(20代から50代)
利用する人の地域	全世界で利用できる	地域や国に限定される
紹介する仕事の規模	アルバイトから経営者まで	アルバイトから社員
教育プログラム	オンラインコースやワークショップ	基本的には採用したあとにその会社が行う

★一人が2つ以上の仕事をする 것과現在の副業の違い

・現在の副業は、メインの仕事が中心で、メインの仕事に影響がない範囲で認められているのに対して、クリエイティブクッキーでは2つの仕事両方ともメインの仕事という考え方。

① クリエイティブクッキーの新しい点

- ・一人が2つ以上の仕事をすることをサポート
- ・利用する対象者に子供が含まれる
- ・利用する人の地域が全世界
- ・経営者になることまでサポートしている
- ・仕事を探す前に教育プログラムがある
- ・教育を受けたり仕事をすることで経験値がたまり、見える化される。

② クリエイティブクッキーの課題

- ・現在の人材サービスが地域や国に限定されているのは、日本の場合は仕事紹介や人材派遣を行うためには厚生労働省の認可が必要であり、これは他の国でも同様だと考えられる。2040年までに世界中の国がオンラインでのグローバルな働き方に対する理解がひろがり、各国の法律や制度が変わっていく必要がある。

子供から大人まで
**夢をかなえてやりたい仕事ができる
クリエイティブクッキーの誕生！**

Can't wait for 2040!

さいごに 私たちが提案する2040年



「AIや技術の進歩で
仕事が無くなる

一人が2つ以上の
仕事をする社会

今回OpenAIのChatGPTを使って
画像を作ってみました。情報を入
れるだけで数秒で思っていた以上
の画像が生成されました。2040年
に向けて更に技術が進化して、本当
に私たちがやりたいことが数秒で
できる世の中になると思います。

環境を考える社会

すべてが自転車で移
動できる距離で完結
できる社会

新たなエネルギーが出来ることも期待
できますが、会社に行かなくても仕事
ができる世界になると考えています。
大人へのインタビューで東京まで往復
3時間かけて会社に行く話を聞きました。
この時間で別の仕事が出来たり、環境も
改善できると思います。

国家間の紛争や対立

世界中の人たちと
常に交流し、お互い
に理解し合える社会

外国人が日本に移住しなくても、日本の
仕事ができるようになり、日本人も外国
に行かなくても外国と仕事ができるよう
になれば、慣れない土地で生活する必要
がなくなり、仕事に集中できると思い
ます。常に交流していくことで、相手の考
えを知り、お互いに理解できるようにな
ると思います。



**私たちの2040年は好きな仕事ややりたいと思っている仕事に挑戦
できるようになり、より豊かな社会になっていくと考えています。**

役割分担 資料作成(奥村翔平)

友達へのインタビュー(奥村新奈、エリス チャールズ ヘンリー、池澤凜帆、小川聖陽)

大人へのインタビュー(奥村翔平、奥村新奈、エリス チャールズ ヘンリー、池澤凜帆、小川聖陽)

インタビュー内容のとりまとめ(奥村新奈)

資料の収集・分析(奥村翔平、奥村新奈、池澤凜帆)

チーム名の提案(エリス チャールズ ヘンリー)

提案内容(全員)

Open AI ChatGPTの操作、画像作成(奥村翔平、奥村新奈、池澤凜帆、小川聖陽)

出典 学研教育総合研究所「小学生白書」2023年10月調査
「将来つきたい職業ランキング」

Open AI ChatGPT

使用画像: Pixta(著作権使用許可画像)